



倉敷市立玉島西中学校

校長室だより

校訓：誠実に たくましく

第18号

令和8年1月8日（木）

あけましておめでとうございます

1月6日（火）の午前10時過ぎに、鳥取県・島根県を震源とする地震があり、倉敷市でも震度4の揺れがありました。皆さんのお家は大丈夫だったでしょうか？地震は本当にいつ来るかわからず、普段からの備えの大切さをあらためて感じさせられました。

1月7日(水)に3学期の始業式をリモートで行いました。始業式の中で、今まで話してきた3つの大切にしてほしいこと「仲間」「挑戦する心」「学習」に加えて、①「今できることに全力で取り組むこと」、②「粘り強く取り組むこと」を意識してほしいというお話をしました。1年後の自分の姿を思い浮かべることで目標は立てやすくなります。日々、今自分ができることに全力で取り組むこと、そして、困難なことや失敗にもくじけず、粘り強く取り組んでいくことで、点から線へと自分の努力の足跡を残してほしいという内容でした。また、生徒代表の方も力強く決意の言葉を述べていました。

1年生代表：2分前着席など時間を意識した行動や気持ちのよいあいさつを心がけたい。

2年生代表：失敗や経験を生かして自律した行動や思いやりを大切にした行動を心がける。

3年生代表：日々の授業や生活を大切に受験に向けて頑張りたい。

1年後、1年生は中堅学年として、2年生は最上級生として、3年生は自分の力でつかみとった新たな場所で、輝いている自分の姿を思い浮かべながら、素晴らしいスタートを切って充実した3学期にしていきましょう。

倉敷こどもミーティングに参加！

12月25日（木）にライフパークで「倉敷こどもミーティング」が開催され、玉島西中学校からは生徒会執行部2名が参加しました。「倉敷こどもミーティング」は自分たちの身のまわりの課題を、自分たちの手で解決していくことを目指して、倉敷市内の小中学校代表が話し合う場です。今回は、「『インクルーシブ』について理解を深めよう！」をテーマに、日本財団パラスポーツセンターから倉敷市に10台寄贈されたスポーツ用車いすの活用について、グループで活発に話し合い、全体でも考えを共有しました。誰もが参加できるインクルーシブな運動会の種目や車いすの活用方法について、競技方法や工夫点、大切にしたい思いを各グループで発表しました。



スポーツ用車いすの試乗。
とても軽い力で操縦できます。



グループ協議の様子。各自の
考えを相手に伝わるように説
明し、真剣に聞いています。

中学生災害ボランティアリーダー研修会に参加！

12月25日（木）に玉島市民交流センターで「中学生災害ボランティアリーダー研修会」が開催され、ソフトテニス部男子7名が参加しました。この研修会は、災害時におけるボランティア活動への関心を深め、緊急時の適切な対応や救急救命の知識を備えた人材の育成を目的に2014年から始まりました。救命措置の研修では、周囲の安全や反応の確認、119番通報やAEDの手配をした後、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を一人ずつ体験しました。

